



- 設置
昭和58年4月1日
- 建物延面積
43,813㎡
- 開院
昭和58年10月20日
- 病床数
承認病床 613床

基本理念

患者さまの権利を尊重し、良質な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し医療の発展に寄与する。

基本方針《目標》

1. 患者さまの人格と尊厳を重んじ、患者さま中心の良質・安全な医療を実践する。
2. 厳しい倫理観と豊かな人間性を備え、高い能力を持つ医療人を育成し、生涯研修の場を提供する。
3. 高度先進医療の開発につながる創造的研究や、医薬品の臨床試験を推進する。
4. 医療・福祉の向上のため、地域医療機関との連携を強め、各種支援事業を行うなど地域の中核的役割を果たす。
5. 満足度の高い医療環境の整備に努め、効率よく、安定した病院経営を行う。

患者さまの権利

すべての患者さまは次の医療に関する権利をもち、当院は患者さまの権利を尊重した医療を行います。

1. 安心して質の高い医療を受ける権利
2. 医療従事者から納得のゆく説明を受ける権利
3. 説明を受けた後に治療方針を選択する権利
4. セカンドオピニオン（他の医師の意見）を求める権利
5. プライバシーが守られる権利
6. 診断治療を拒否する権利

特に、精神神経疾病がある患者さまの権利を擁護します。

《診療科》

内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科	消化器外科
循環器・腎臓・脳卒中内科	呼吸器・乳腺内分泌外科
消化器・神経内科	整形外科
皮膚科	形成外科・美容外科
精神科神経科	泌尿器・副腎・腎移植外科
小児科	脳神経外科
周産期科女性診療科	眼科
小児成育外科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
心臓血管外科	放射線科
	麻酔・ペインクリニック科
	歯・顎・口腔外科

《中央診療施設》

検査部	放射線部
手術部	材料部

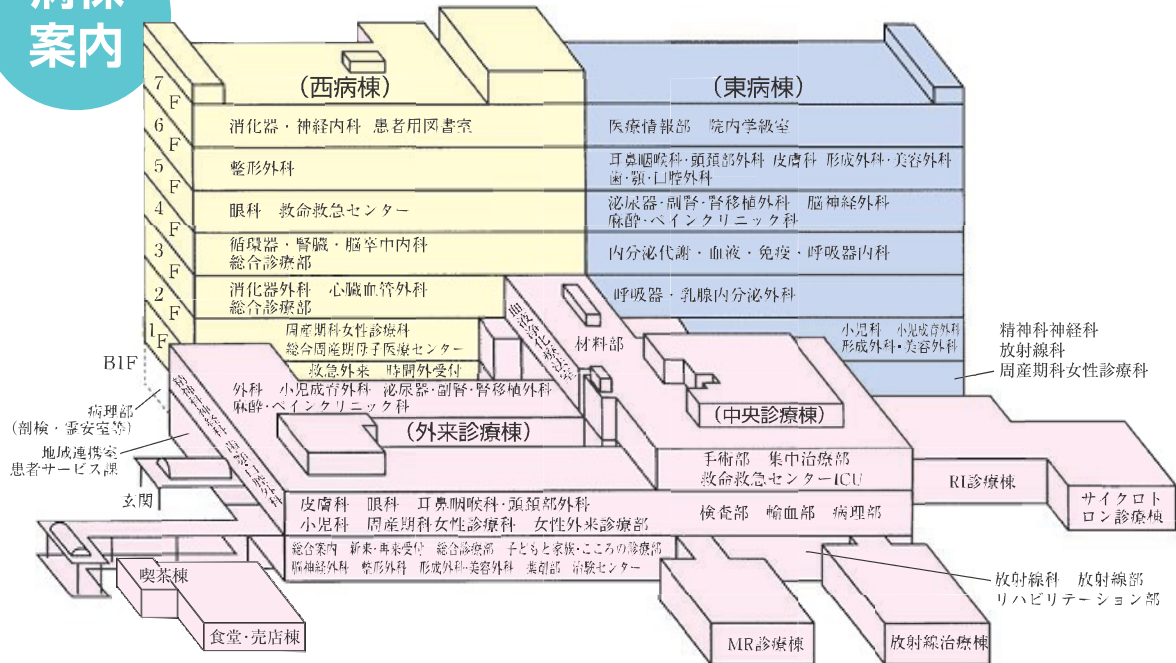
《特殊診療施設》

救命救急センター	血液浄化療法室
総合診療部	内視鏡診療部
集中治療部	腫瘍センター
輸血部	子どもと家族・こころの診療部
病理部	女性外来診療部
医療情報部	高次脳機能障害外来診療部
総合周産期母子医療センター	遺伝子診療部
リハビリテーション部	ME 機器管理センター

診療情報管理室	卒後臨床研修センター
治験管理センター	臨床教育研修管理室
感染対策室	ワーク・ライフ・バランス支援室
医療安全管理部	薬剤部
外来化学療法室	看護部
地域連携室	

革
 川大学憲章
 織 図
 職 員
 職 員 数
 部・研究科
 士の定員及び現員
 互換協定事業の概況
 学 状 況
 業者就職状況等
 学生支援機構奨学生数
 設 等
 開 講 座
 際 交 流
 務 状 況
 学 官 連 携
 学 部 附 属 病 院
 連 教 育 病 院
 構 等
 ヤ ン パ ス

病棟案内

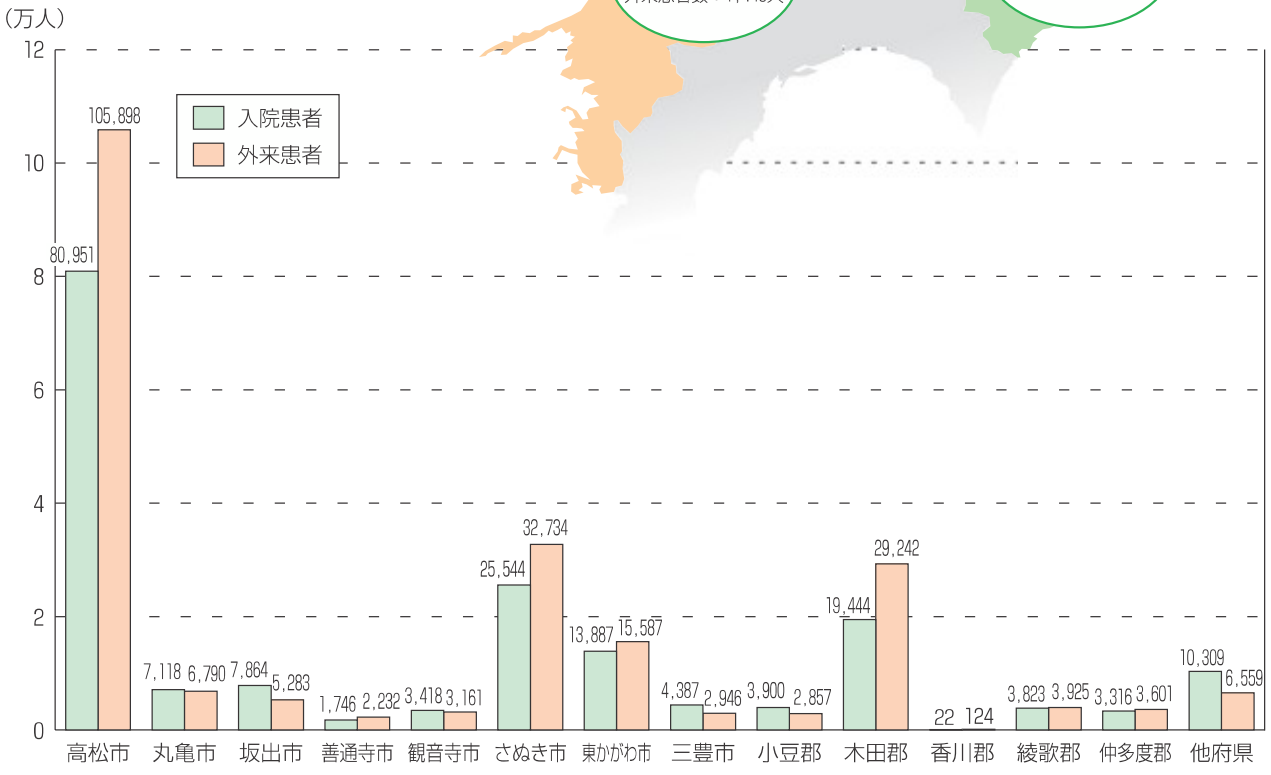


- 治
- 香川大学憲
- 組織
- 役職
- 役員
- 学部・研究
- 学生の定員及び呼
- 前立互選設置の職
- 入学状
- 卒業生就職状況
- 日本学生支援機構奨
- 施設
- 公開講
- 国際交
- 財務状
- 産学官連
- 医学部附属
- 関連教育病
- 機構
- キャンパ

県別来院状況



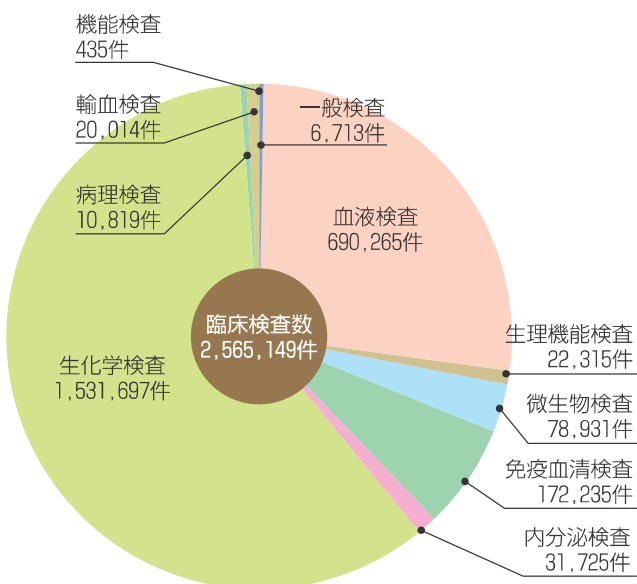
入院・外来患者の県内分布



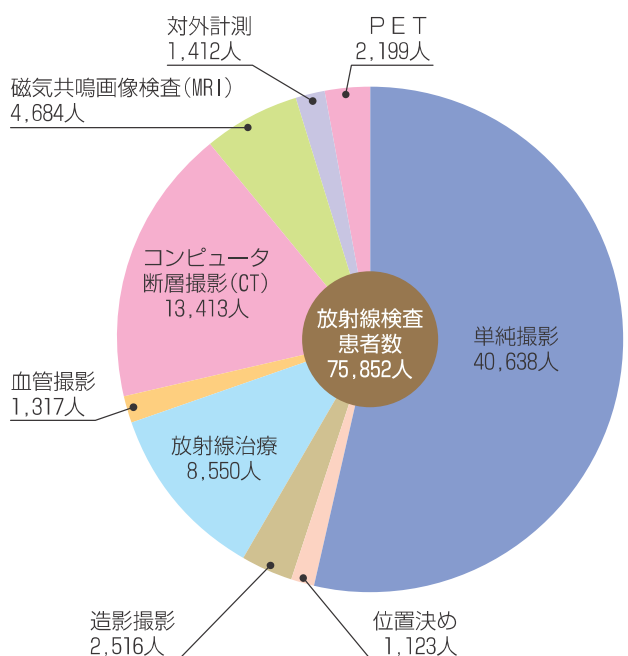
診療科別病床数及び患者数

診療科	区分	病床数	入院患者		外来患者	
			延数	1日平均	延数	1日平均
内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科		41	14,756	40.4	22,271	92.0
循環器・腎臓・脳卒中内科		33	11,455	31.4	12,867	53.2
消化器・神経内科		48	16,944	46.4	19,889	82.2
総合診療部		12	3,546	9.7	5,238	21.6
皮膚科		13	3,614	9.9	9,111	37.6
精神科神経科		26	5,598	15.3	11,653	48.2
小児科		27	12,609	34.5	16,585	68.5
周産期科女性診療科		53	22,587	61.9	17,242	71.2
小児成育外科		7	1,914	5.2	3,087	12.8
心臓血管外科		9	3,594	9.8	863	3.6
消化器外科		32	11,212	30.7	4,304	17.8
呼吸器・乳腺内分泌外科		43	13,778	37.7	10,777	44.5
整形外科		48	17,682	48.4	19,367	80.0
形成外科・美容外科		15	3,916	10.7	4,730	19.5
泌尿器・副腎・腎移植外科		23	7,525	20.6	9,986	41.3
脳神経外科		23	9,665	26.5	5,451	22.5
眼科		32	10,370	28.4	17,815	73.6
耳鼻咽喉科・頭頸部外科		19	6,484	17.8	12,251	50.6
放射線科		3	148	0.4	6,668	27.6
麻酔・ペインクリニック科		2	5,682	15.6	3,556	14.7
歯・顎・口腔外科		9	2,650	7.3	7,228	29.9
共 通		95				
計		613	185,729	508.8	220,939	913.0

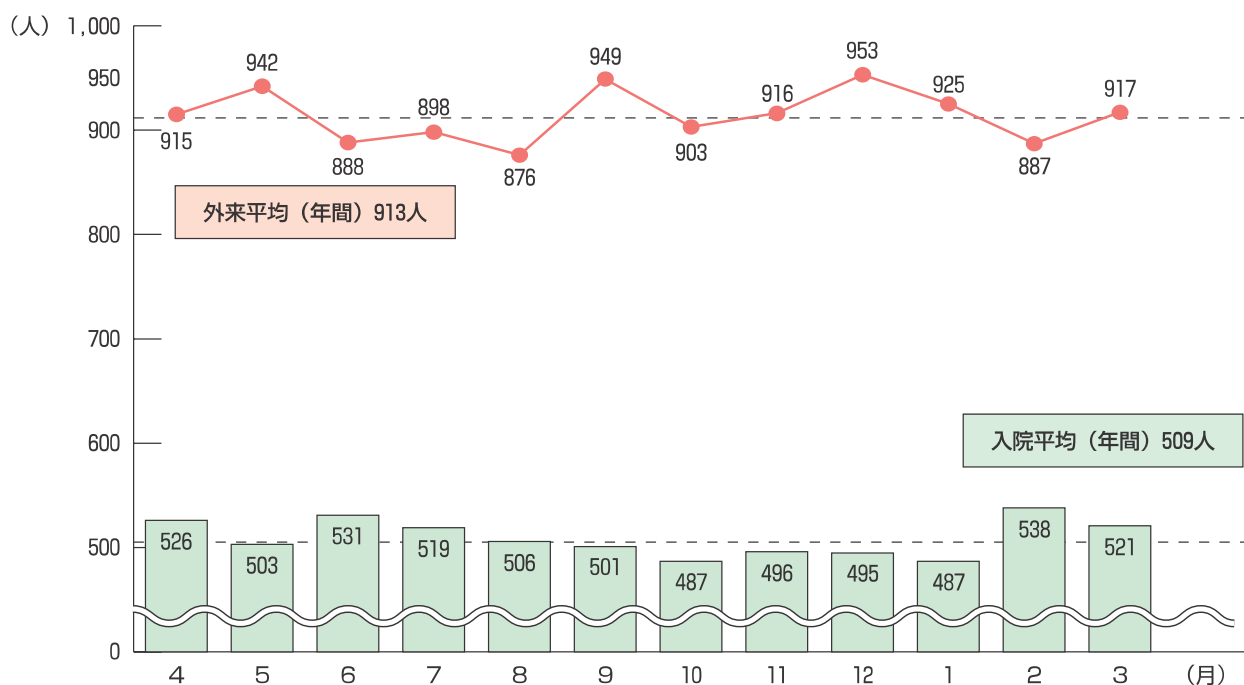
臨床検査件数



放射線検査患者数



■ 入院・外来 1 日平均患者数(月別)



■ 救急患者の受入状況

外来患者	入院患者	計
3,861	1,671	5,532

■ 分娩件数

正常分娩		異常分娩		計
成熟児	未熟児	成熟児	未熟児	
330	56	90	55	531

■ 手術件数

点数分類別	0~4,999点	5,000~19,999点	20,000点以上	計
件数	1,011	2,295	1,723	5,028

■ 処方せん調剤枚数等

区分	調剤枚数	中心静脈注射 無菌調製件数	服薬指導件数	血液中薬物濃度 測定件数	外来薬剤情報提供枚数
枚数、件数	101,192 外来 13,272 入院 87,920	4,259	5,636	4,269	11,480

関連教育病院

名称	香川県立中央病院 (23診療科・631床)
所在地	〒760-8557 香川県高松市番町5-4-16 電話 (087) 835-2222

建物延面積 39,214.89㎡

- 治
- 香川大学憲
- 組織
- 役職
- 役員
- 学部・研究
- 学生の定員及び学
- 制の目標定員の職
- 入学状
- 卒業生就職状況
- 日本学生支援機構奨
- 施設
- 公開講
- 国際交
- 財務状
- 産学官連
- 医学部附属
- 関連教育病
- 機
- キャンパ

機 構 等

教育・学生支援機構

大学教育開発センター

大学教育開発センターは、教養教育と専門教育の有機的連携を図り、本学の教育目標を達成するため、全学共通科目に係る企画運営等を行い、全学共通科目の授業実施を円滑に行うとともに、大学教育について自己点検・評価し、その改革・改善の方策について調査研究を行う学内共同教育研究施設として、設置された。

このセンターには、共通教育の実施責任を担う共通教育部、カリキュラム開発の企画を担う調査研究部及び外国語教育部を置き、大学教育の質的充実を図っている。

アドミッションセンター

アドミッションセンターは、更なる少子化を迎えるに当たり、地域ニーズにも配慮した多様な判定基準に基づく入試方法の開発を目指すとともに、効率的な入試体制を構築するための調査研究を行うため平成17年4月に設置された。

センターは、全学体制の下で入学者選抜方法の開発と、積極的な入試広報活動を行う。当センターにおいては、新たな選抜方法の開発と調査研究、新たな受験生発掘のための積極的な入試広報活動を展開する。

キャリア支援センター

キャリア支援センターは、在学期間を通じて、生き方・進路・職業選択を考えながら、人生の目標を持って学生生活を送ることができるよう支援していくこと、及び、希望する進路を実現できるように、学生への就職支援を充実させていくことを目的として、平成18年4月に設置された。主な業務は、(1) キャリア教育の企画・実施に関すること、(2) 就職支援・相談事業の企画・実施に関すること、(3) インターンシップの企画・実施に関すること、(4) キャリア支援に係る学部、研究科等との連絡調整及び支援に関すること、等である。

生涯学習教育研究センター

生涯学習教育研究センターは、大学公開講座、高等教育レベルの生涯学習に関する研究・調査、地域社会における生涯学習指導者の養成・教育、生涯学習に関する情報の提供・相談等を行う施設である。

本センターの前身である大学教育開放センターは、本学の研究・教育活動を地域社会に開放するため1978年に設置された。そして1991年、大学教育開放センターは、地域住民及び地域社会の生涯学習要求の高まりに対応するため、生涯学習教育研究センターに改組された。

本センターは、毎年、文学、文化、芸術、スポーツ、教育、法学、経済学、医学、工学、農学等の多様な分野にわたる約30の公開講座を行うとともに、地域社会および大学における生涯学習のあり方に関する研究・調査の成果を、毎年度発行する『香川大学生涯学習教育研究センター研究報告』を通して公表している。本センターは、こうした活動を通して本学の研究・教育の成果を地域社会に開放する上で重要な役割を果たしている。

研究推進機構

研究企画センター

研究企画センターは、本学における研究の活性化・高度化を促進するため、研究基盤の整備・充実を図り、本学の特色ある研究を推進することを目的としている。本学の中期目標・中期計画で掲げている下記の目標を実現するために、さまざまな取り組みを進めている。

1. 人文・社会・自然科学分野を幅広く包含する大学として、各専門分野における研究活動の活性化と高度化を図り、研究領域の融合によって生まれる新分野の開拓を図ること。
2. 独創的で将来性に富む萌芽的研究を支援し育成すること。
3. 国際水準の卓越した研究領域を重点的かつ戦略的に支援することによって、国際的競争力のある研究拠点を構築すること。
4. 研究成果を広く社会に公表・還元して、地域をはじめ社会の活性化・振興に積極的に生かすこと。

総合生命科学研究センター

香川大学総合生命科学研究センターは、香川大学における生命科学分野の教育・研究の推進、およびその研究支援を行うことを目的に、2007年4月に設置された。センターは、以下の部門からなり、教職員は、医学部キャンパスおよび農学部キャンパスで教育・研究、および研究支援活動を行っている。

《遺伝子研究部門》ゲノム情報科学や高等植物の遺伝子を使った研究・教育を行うとともに、遺伝子実験に関する研究支援を行う。

《分子構造解析研究部門》タンパク質等の生体高分子の3次元構造を決定し、構造と機能との相関について研究・教育を行う。

《実験実習機器部門》共同利用実験機器を維持管理し、高度分析装置の使用に関する研究支援を行う。

《動物実験部門》動物実験施設を管理運営し、実験動物の飼育管理、系統維持等、動物実験に関する研究支援を行う。

《放射性同位元素実験部門(医学部地区)》放射性同位元素実験施設(医学部地区)を管理運営し、放射性同位元素実験の教育・研究支援を行う。

《放射性同位元素実験部門(農学部地区)》放射性同位元素実験施設(農学部地区)を管理運営し、放射性同位元素実験の教育・研究支援を行う。

《糖鎖機能解析研究部門》糖質バイオクラスターの一環として世界水準の研究を創出し、展開していく。
 《糖質バイオ研究部門》平成20年度より設置された新設講座であり、糖質を中心とした基盤研究を行うと共に、地域産業と連携を図りながら、地域に根付いた新たな産業創出を目指す。

希少糖研究センター

希少糖研究センターは、生産方法、生理機能、用途などの研究がほとんど進んでいない「希少糖」に関する独自の研究を進展させるとともに、外部機関等との共同研究を推進することにより、地域の科学技術の発展と産業の振興に寄与し、希少糖に関する情報の収集・発信及び教育研究の充実に資するため、2003年10月の旧香川大学と旧香川医科大学の統合時に省令施設として設置された。

地域における産学官の連携した研究を実施し、国際希少糖学会と連携することで希少糖に関する情報を世界に発信し、受信すると同時に国際共同研究を積極的に進める。

微細構造デバイス統合研究センター

微細構造デバイス統合研究センターは、平成17年4月に設置された。本センターは、工学部がこれまで取り組んできた「マイクロ・ナノマシン技術」をベースに、これらを統合化することによって、今後、成長が期待されているIT、バイオ分野を中心としたデバイスの開発を目指すものである。

本技術内容としては、チタン合金という強靱な材料とその加工などを応用した超精密金型・成型技術や、光を用いてパターンを形成することによりシリコンを深く加工する技術などの超微細加工技術がある。

農学部や医学部等との学内連携はもとより、他大学や各種研究機関との共同研究などを通じ、これらの複合した領域におけるバイオメカ等の新しい研究を展開して、新たな学際的研究分野を切り拓くものである。また、産学連携についても積極的に取り組み、要望されるものを実現するという立場で、特に地元企業を中心に技術移転や実用化開発に向けた支援を行い、地域の産業振興に貢献する。さらに、人材育成の場も提供し、学生を研究活動に参画させて先端分野における研究やモノづくりを体験させることで、世界に通用する人材の輩出を行う。

瀬戸内圏研究センター

香川大学瀬戸内圏研究センターは、瀬戸内圏の諸課題を解決するべく調査・研究を行い、その成果を地域社会に還元させ、地域の活性化を図るとともに、地域の財産である瀬戸内圏が育んできたその風土や豊かな環境を保全・継承させることを目的として、平成21年3月1日付けで設置された。本センターは、瀬戸内圏に関する「知の総合拠点」となることを目指し、(1) 瀬戸内圏研究の推進、(2) 瀬戸内圏研究に関する情報の収集及び発信、(3) 瀬戸内圏研究に関する研究成果の公開、などを行う。

沿
 香川大学憲
 組 織
 役 職
 役 職 員
 学 部 ・ 研 究
 学 生 の 定 員 及 び 研
 究 的 巨 額 課 金 費 の 調 査
 入 学 状
 卒 業 者 就 職 状 況
 日 本 学 生 支 援 機 構 奨 学 費
 施 設
 公 開 講
 国 際 交
 財 務 状
 産 学 官 連
 医 学 部 附 属 病
 関 連 教 育 病
 構 構
 キ ャ ン パ

図書館・情報機構

図書館 (P18参照)

博物館 (P19参照)

総合情報センター

総合情報センターは、図書館・情報機構内に置かれ、香川大学の学内共同利用施設の一つとして、学内情報基盤担当組織の役割を担うと共に、先進的な教育・研究拠点として大学と地域社会に貢献することを目指している。センターは学内外・キャンパス間等を繋ぐネットワークの整備、管理を通して、教育研究活動、事務処理、遠隔講義、地域情報サービスなどを行うネットワーク環境を提供している。複数の情報サーバーを設置し多様なネットワークサービスを提供している。各キャンパスの演習室などに設置された総計500台以上の教育用PCシステムは学生の情報教育、語学教育やその他の学習活動に活用されている。また、センターは情報システム工学、教育工学、認知科学などの先端的研究を行い、大学の高度な情報化を支援している。

産学官連携推進機構

社会連携・知的財産センター

社会連携・知的財産センターは、大学と地域企業等との共同研究を促進するため、また知的財産を有効に活用した社会貢献を促進するため、旧地域開発共同研究センターと旧知的財産活用本部の統合により、平成20年4月に設置された。

- センターの主な業務は、
- (1) 民間企業等との共同研究又は受託研究の振興
 - (2) 民間企業等に対する研究開発等の技術相談、技術交流等の支援
 - (3) 民間企業等への学術情報の提供
 - (4) 知的財産の創出・権利化・維持管理
 - (5) 知的財産の活用による産学官連携の推進
 - (6) 特許権等の実施許諾
 - (7) 事業化しうる研究成果の発掘・評価・選別、等である。

危機管理研究センター

危機管理研究センターは、地震、津波、高潮、河川氾濫等の自然災害、及びテロ、事故や犯罪等の人為災害から人々の生命や財産を守り、地域社会の安全・安心に寄与するための学術的・技術的研究並びに人材育成を目的として、平成20年4月に設置された。本センターは、「教育研究部門」と「地域連携部門」の2つの部門で構成され、地域の行政機関や企業等と協力して、地域の

安全・安心に関わる8つの研究プロジェクトを実施する。

「教育研究部門」 ①セキュリティ科学研究 ②健康危機管理研究 ③災害デジタルアーカイブ研究
④防災コンピテンシー研究

「地域連携部門」 ⑤災害時緊急対応 ⑥リスクアセスメント研究 ⑦業務継続計画(BCP)策定支援 ⑧防災研究拠点形成

インターナショナルオフィス（平成21年4月設置）

インターナショナルオフィスは、本学における国際交流の窓口として、情報収集、発信の一元化を行うと共に、国際戦略の構築並びに教育研究等の国際的な連携を推進することを目的としている。

この目的を達成するために、国際研究支援センターと留学生センターの相互の連携協力を促進し、地域連携を基盤に国際化を推進している。

国際研究支援センター

国際研究支援センターは、国際的な研究交流の支援及び大学としての国際化方針に基づく戦略の実施について中心的な役割を果たし、本学における国際的な学術交流の推進に寄与することを目的とし、(1)国際共同研究及び国際展開プロジェクトの企画・開発及び推進、(2)海外の研究機関との研究者交流の支援、(3)海外教育研究拠点校との学術交流の支援など幅広く担っている。

留学生センター

留学生センターは、本学に在学する外国人留学生及び海外留学を希望する学生に必要な教育及び、指導助言を行うことにより、本学における国際交流の推進に寄与することを目的とし、全学的な見地から指導援助体制の充実を図るとともに、留学生に関する調査・研究活動や情報提供、地域社会における学生の国際交流活動の推進を担っている。

保健管理センター

保健管理センターは、本部（経済学部キャンパス）、医学部分室、工学部分室、農学部分室からなり、学生及び教職員の心身の健康増進や健康管理を目的として、定期健康診断、健康教育、応急処置、健康相談、心理相談など、広く健康支援活動を行っている。センターには、医師、心理カウンセラー、保健師が配属されており、健康に関する教育研究も、センター職員の重要な業務である。

広報センター

広報センターは、教育、研究、社会貢献、管理運営などの大学における諸活動を学内外に広報し、大学ブランドを構築するため、大学組織規則によるセンターとして平成20年3月に改組された。

主な業務は次の通りです。

- (1) 戦略的な大学広報の推進に関すること
- (2) 報道機関への情報提供に関すること
- (3) 情報公開に関すること
- (4) 大学ホームページの更新と管理に関すること

教育学部附属教育実践総合センター

教育実践総合センターは、教育学部と附属学校園とが一体になって学校教育にかかわるさまざまな実践的・臨床的な課題を香川県下の教育関係機関と連携・協同して研究し、その成果を香川県下の学校教育の実践や、教師の養成・研修に役立てていくことを目的とした教育学部の附属施設である。この目的を達成していくために、本センターは、教育実践研究部門と教育臨床研究部門とを設け、それぞれの部門で関連する教育研究・研修活動と学校の教員を主たる対象とした相談活動を展開している。これらの活動の主な領域は、(1)いじめ、不登校などの教育臨床的な諸問題及び心の教育、(2)情報メディア教育、IT（Information Technology）・ICT（Information and Communication Technology）を活用した遠隔教育などの教育の情報化、(3)教科の統合、総合的な学習などの教育課程の編成、(4)実践的指導力の形成を目指す教員の養成・研修についてである。

農学部附属農場

附属農場は学生への農場実習教育と教職員の研究そして経営の3相を持つ。当農場は昭和33年に設置されたのち幾多の変遷を経て、現在は作物栽培、畜産、果樹及び蔬菜花卉の4部からなる。総面積(約17ha)の大部分を占める傾斜地では、その特性を生かした家畜飼養、茶樹及び果樹栽培を、また、平地では施設利用の園芸作物栽培と水稲栽培を行っている。実習教育に加え大学院生を含む学生の専攻指導もしており、実験室的なものから近年重要性を増しているフィールドサイエンスまでの多様な研究を行っている。

瀬戸内圏研究センター 庵治マリステーション

本施設は四国の最北端にある庵治半島先端に位置し、自然の砂浜や岩礁帯といった自然環境に恵まれる。施設には、調査船「カラヌスⅢ」(19t)及び小型作業船「ノープリウス」(1.6t)が配備されるほか、研究用機器として各種海洋観測機器および栄養塩、全窒素・リンなどの自動分析装置が備えられ、香川大学の海に関する教育・研究の前線基地となっている。本施設では瀬戸内海の環境問題、特に沿岸域の栄養環境と生物生産性、養殖漁場の海域環境、干潟を含めた浅海域の生態環境について調査・研究を行っている。